

議会通信

AUGUST.2022
臨時特別号



カタチ 市民の声を政策に。提案を続けます!!



●撮影場所／2022年1月18日に開園した福岡市動物園「ペンギンエリア」。

福岡市民クラブ一同

私たちはこれからも、みなさまから寄せられた一つひとつの声を議会に届けるとともに、その実現に向けて地道にひたむきに取り組んでまいります。

今特別号が、福岡市民クラブの日頃の活動の一端を広くお伝えし、それぞれの行政区で活動する所属議員に気軽にお声がけいただく「きつかけ」となれば幸いです。

多くの市民のみなさまからの負託を受けて議会で発言する「代弁者」であると同時に、この福岡市で暮らし、皆さんとともに地域社会を支える「地域の一人」です。

また、私たち市議会議員は、多くの市民のみなさまからの負託を受けて議会で発言する「代弁者」であると同時に、この福岡市で暮らし、皆さんとともに地域社会を支える「地域の一人」です。

活動の柱は、2019年4月施行の市議会議員選挙で公示した『会派基本政策2019』に基づいており、その実現に向けて全員一丸となって取り組んでいます。市長の提案に対しては、皆さんの声を傾けながら「是々非々」の態度でのぞむと同時に、健全な二元代表制を堅持すべく、議会の役割を果たすため努力を続けております。

私

たち「福岡市民クラブ」は、働く者・生活者の目線で議会活動に取り組んでいる会派で、立憲民主党、社会民主党の党籍を持つ者と無所属の計10名の福岡市議会議員で構成されています。

ご相談はお近くの議員へ!

～所属議員紹介～

下記の項目と合わせてご紹介いたします

- ① 所属する常任委員会
- ② 私の趣味は〇〇です。
- ③ 学生時代の活動は〇〇です。
- ④ 事務所の所在地と連絡先



東区 3期

落石 俊則

子どもと市民の笑顔をつくるため働きます。

- ① 経済振興委員会
- ② アウトドア・キャンプ
- ③ 大：歴史研究部・考古学
- ④ 東区奈多1丁目10-12
TEL.092-606-4541 FAX.092-606-6878
Mail: info@ochiishi.jp



東区 1期

ついちらは 陽子

子ども達にもっと投資を！二児の母 がんばります。

- ① 教育子ども委員会
- ② テニス・裁縫
- ③ テニス部
- ④ 東区筥松2丁目6-9 パウハウスカミング101
TEL.092-624-8777 FAX.092-624-8778
Mail: rikken.yk@gmail.com



博多区 1期

山田 ゆみこ

ゆめのある みらいのために がんばります

- ① 福祉都市委員会
- ② ドライブ・料理
- ③ スピードスケート
- ④ 博多区浦田1-19-10 TAKEビル1F
TEL.092-504-0388 FAX.092-982-4736
Mail: rikken.yamada@gmail.com



中央区 4期

田中 しんすけ

代表 今日も明日も明後日も、胸を張って元気よく!!

- ① 生活環境委員会
- ② スポーツ全般・読書・食堂巡り
- ③ 中：野球部 高：バレーボール部
- ④ 中央区平尾5丁目4-36 アイ・アンド・エル平尾2F
TEL.092-521-3650 FAX.092-521-5221
Mail: info@tanakashinsuke.jp



南区 2期

近藤 里美

政調会長／議運理事 誰もがイキイキと心豊かに暮らせる福岡市へ

- ① 福祉都市委員会
- ② 唄うこと・読書
- ③ 高：合唱部 大：軽音部
- ④ 南区大橋2丁目13-15 みのはらビル2F
TEL/FAX.092-541-7373
Mail: satomi-kondo@fukuokashimin.jp



南区 1期

成瀬 えみ

総務会長 いちばん身近で頼れる存在へ!

- ① 総務財政委員会
- ② キャンプ、チラシ作成
- ③ 生徒会、山岳部、YMCA
- ④ 南区玉川町12-3 川上ビル201
TEL.092-408-1920 FAX.092-408-1928
Mail: eminaruse@gmail.com



城南区 1期

井上 まい

「寄り添う政治」をモットーに活動中です!

- ① 経済振興委員会
- ② カラオケ、ソフトバレー
- ③ 陸上部(混成7種競技)
- ④ 城南区東油山1-1-16 東野ビル1F
TEL.092-874-2601 FAX.092-874-2602
Mail: info@inouemai.jp



早良区 1期

宮浦 寛

幹事長 「一隅を照らす」ひとりが輝き、社会も輝く!

- ① 総務財政委員会
- ② 建物の間取り図を描くこと
- ③ 剣道部
- ④ 早良区田隈1丁目7-4
TEL/FAX.092-203-2007
Mail: ah2007office@yahoo.co.jp



西区 4期

池田 良子

副代表 いきいきわくわく そんな未来を子どもたちに!

- ① 教育子ども委員会
- ② 寄席・フラワーアレンジメント
- ③ 大：落研・障がい児問題研究会
- ④ 西区野方2-13-3
TEL.092-812-3447 FAX.092-812-3449
Mail: nukumori_anshin06@yahoo.co.jp



西区 1期

田中 たかし

議会運営委員 脂が乗った45歳。私を使い倒して下さい!

- ① 生活環境委員会
- ② 熱帯魚飼育・ビリヤード
- ③ 高：バドミントン
- ④ 西区徳永北14-27
TEL/FAX.092-407-6236
Mail: tanakatakashi.office@gmail.com

福岡市民クラブ

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
Tel:092-711-4736 Fax:092-732-4055
http://fukuokashimin.jp/

- ホームページ
- フェイスブック
- インスタグラム
- ライン
- ツイッター
- ユーチューブ



福岡市民クラブが取り組んできた『会派基本政策2019』

2019年2月、私たち「福岡市民クラブ」は、これからの4年間を見据え、社会・経済情勢が激しく変化する中においても将来のあるべき姿を展望し、福岡市政の改革に必要な取組を『会派基本政策2019』としてまとめ、公表し、本政策の実現に向けて鋭意取り組んできました。

ここでは、市民の皆さまにお約束した政策の概要と、どのような取り組みを通じて実現する道筋をつけているのか、加えて、これまでの約4年間の進捗状況について、ご報告します。



▲本会議場で発言する福岡市民クラブ

会派基本政策を支える『4つの柱(戦略)』

「会派基本政策2019」は、「生活保障戦略」「成長戦略」「地域主権戦略」「共生戦略」の4つを大きな柱としており、それぞれ相互に関係性を持ったものです。市民の暮らしを守る**生活保障**に必要な施策と、それに必要な財源を新たに生み出す本市の特性を踏まえた**成長戦略**。そして、生み出された財源を**地域主権戦略**の観点から、これまで以上に市民の声を反映させる仕組みの下で分配していく。さらに、これらの健全な循環を支えるため、市民の力を高め合い、認め合うために必要な公共基盤の強化、すなわち**共生戦略**関連施策の推進を図っていくという都市経営理念に支えられています。それぞれの戦略は複数の項目、施策から成り立っており、全体で84項目144施策にのぼり、本市の発展にとってはどれ一つ欠かすことのできない施策です。



政策の実現に向け「行動」と「刷新」を続けています。

～私たちのPDCAサイクル～

私たちは、会派基本政策の実現に向け、議会で提案し理解を求め、進捗状況を確認した上で、市民の皆さまに報告と情報交換を行ない、新たな課題も盛り込んだ上で、次の提案につなげるというサイクルを続けています。

毎年12月、「予算要望」を市長に提出。年4回の議会でも提案を続けます。



いただいた「声」をもとに、会派基本政策と合わせて、新たに生じた課題について、予算要望に盛り込み、次年度の活動につなげます。



毎年、予算要望から各種議会活動を振り返り、「会派基本政策2019」のすべての項目・施策に関する進捗状況を確認します。

毎秋、議会活動報告会を開催し、一年間の活動の振り返り、政策の進捗を報告。同時に、様々な角度からご意見、ご要望を伺います。

4年間の取り組み成果

令和4年度予算に取り入れられた施策も含め、今期の取り組みにより、会派基本政策全体の約50% (72項目) に関して、会派の意向に沿った形で政策実現が進みました！

◎	会派と当局の方向性が一致しており要望項目の達成に道筋がついた	13	9.0%
○	会派と当局の方向性が一致しており施策が前進した	59	41.0%
□	会派と当局の方向性は一致しているが施策の前進には至っていない	14	9.7%
△	会派と当局の方向性は一致しないが何らかの進展があった	42	29.2%
×	会派と当局の方向性は一致せず前進もみられない	16	11.1%
	合計	144	100%

⇒4つの戦略別の特筆すべき進捗については、右ページにてご紹介いたします！

第11回『議会活動報告会』を開催します！

[日時] 令和4年9月14日(水) 19:00~20:30
[場所] TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール
福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館 16F



感染症対策を講じつつ行いますので、お気軽にお立ち寄りいただけましたら幸いです。

生活保障戦略



“元気な高齢者のまち”を推進

高齢者の外出機会や社会参加を後押しし、元気な高齢者のまちを推進すべく、高齢者乗車券の利便性の向上やお出かけをサポートするベンチの設置拡充を求めてきました。

高齢者乗車券については、区役所に限らず、最寄りの地下鉄駅券売機やポイントチャージ機でICカードにチャージする方法を導入し、利用者の利便性を向上することができました。

ベンチ設置については、令和4年度の事業として**市内の設置可能な全バス停へのベンチ設置を予算化**するなど、ベンチの増設を進めることができます。引き続き、ベンチの仕様や工夫や並木道などの設置場所の工夫など、充実できるように求めていきます。

障がい者の就労自立支援に向け雇用率アップはかる

障がいの種類や程度に応じた適切な知識やスキルを獲得できるよう、事業所との連携や指導の強化等と合わせ、障がい者の雇用率のアップを求めてきました。

福岡市の雇用については、**外郭団体も含め、法定雇用率を上回る雇用を実現**しました。民間事業所における雇用については、「障がい者就労支援センター」において、企業訪問や企業を対象としたセミナーを開催し啓発・助言を行なうとともに、4.6%以上の障害者雇用率を達成している事業所を「社会貢献優良企業」として認定し、市の契約において優先指名などの優遇制度を適用し、更なる障がい者雇用の拡大に向けた取り組みを進めています。

地域主権戦略



“社会科特別授業”を通じて政治教育の推進

市議会の仕組みや役割を知ってもらう「福岡市議会社会科特別授業」の中学生までの対象拡大と実施回数の増加に取り組んできました。

令和元年の第2回開催では、議員の主体的な企画運営により、前年実績を上回る小学校5校、約350人の参加が実現しました。その後2年はコロナ禍で中止となりましたが、学校関係者や子ども達から好評であったため、今年は形態を変えた「親子議場見学会」を開催。来年以降は通常開催をめざすとともに、参加できずに小学校を卒業してしまった子ども達への機会提供のための対象の拡大や、実施日の増加など、参加校の拡大に引き続き取り組んでいきます。

住民自治の基盤強化に向け条例制定

都市化の進展などにより運営に困難をきたしている地域コミュニティが増加傾向にあることから、長年にわたり**自治会・町内会の公共性を明確化する条例の制定**を求めてきました。ついに本年4月、「福岡市共創による地域コミュニティ活性化条例案」が施行。地域活動に取り組む市民等への支援や地域コミュニティへの過重な負担を抑制するなど、市の責務も明文化しており、自治体・町内会役員の負担軽減や担い手の確保も見込まれます。

今後は、様々な仕組みや取り組みを計画的に推進する必要があることから「地域コミュニティ活性化推進計画」の策定についても、引き続き求めていきます。

成長戦略



福岡市経済を支える“観光”の充実

幅広い人の往来を促すため、多種多様なコンベンションを誘致すると共に、コロナ禍をふまえつつ、市民生活に配慮した観光の振興と施策の充実を求めてきました。

観光客の受入環境の充実に向け、美術館等の公共施設や地下鉄の企画乗車券など、キャッシュレス決済が活用できるよう改善。加えて、**多言語や多様な食文化に対応している飲食店等を情報発信**するなど、コロナ禍後を見据え、取り組んでいます。また、観光振興施策の実施には、2020年4月にスタートした宿泊税を活用することから、宿泊事業者をはじめ納税者に対する宿泊税の取り扱いルールや使途の可視化を求め、実現しています。

地場中小企業の人材獲得を支援

地場中小企業の採用活動を支援するため、各種学校と企業の連携を図るとともに、首都圏や関西圏の求職者からも福岡市の企業が選ばれるよう、人材確保支援を求めてきました。

特にコロナ禍中は、**福岡市主催による「オンライン合同会社説明会」を開催**。関係機関が実施する学生向け説明会や、1ターンUターンを目的とした合同会社説明会の広報協力など、国・県や商工会議所等と連携し、人材確保に向けた支援を行っています。また、福岡市が企業側の支援ニーズを把握するため、市内中小企業を対象としたアンケートの調査回数を増やしたことから、引き続き実態に即した効果的な支援を求めていきます。

共生戦略



きめ細かな教育と学びの機会拡充

教師が子ども一人ひとりに向き合い、きめ細かな教育を行なえる環境の整備と、様々な事情により十分な教育を受けられなかった人への学びのチャンスを求めてきました。

35人以下の少人数学級については、市の独自施策として令和4年度から本格実施となり、教職員も増員することができました。引き続き、分割指導等の工夫が可能な教職員配置を求めていきます。

本年4月、学び直しを希望する市民を広く受け入れる**公立夜間中学「福岡きぼう中学校」を開校**することができました。生徒の状況やニーズを踏まえた学校生活を送れるよう、柔軟に対応できるカリキュラムの編成、指導や支援の体制づくりに取り組んでいます。

あらゆる災害を見据えまちを強靱化

毎年のように発生する豪雨や地震をはじめとした自然災害への備えをより強化するとともに、日頃の緊急車両の到着時刻の短縮など、まち全体の強靱化を求めてきました。

浸水対策については、河川の流下能力の向上に向けた現況調査や改良工事を進めるとともに、管渠やポンプ等の排水機能の強化をはかっています。公共施設の耐震化についても、**博多区役所の建替え**を終え、土木構造物2施設についても順調に進めています。緊急車両の速達性向上のため、狭あい道路の拡幅や右折レーン設置等による交差点の改良、さらに令和4年度は**救急隊の増員**に取り組まれました。